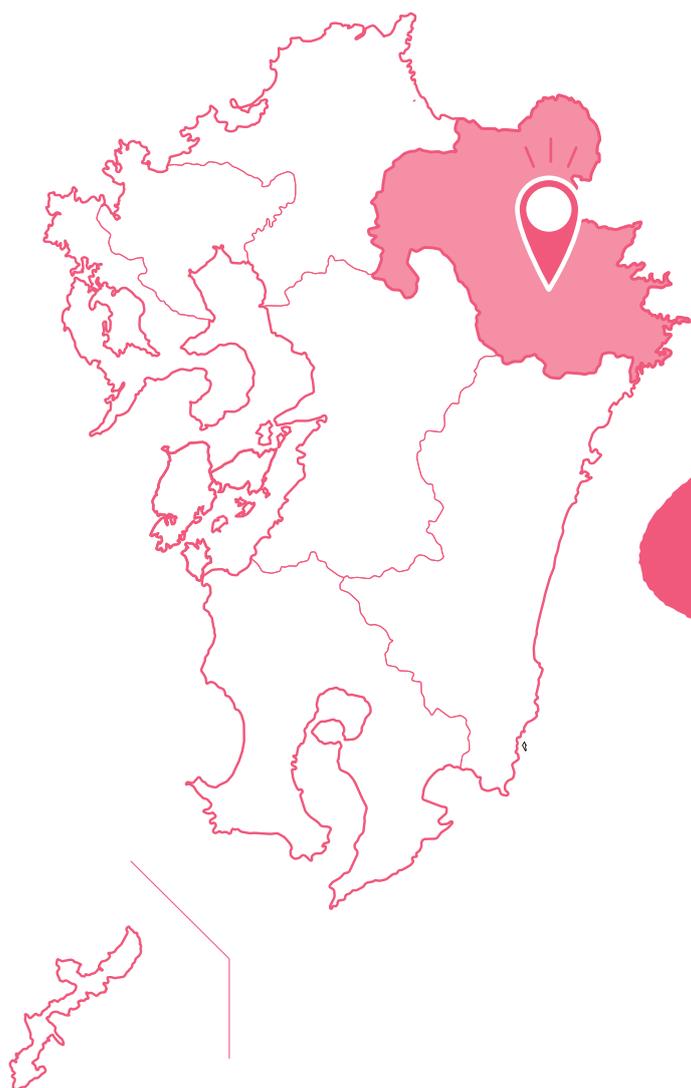


キャリア・パスポートを 「自己理解」につなぐ

～ 大分県中学校教育研究会進路指導・
キャリア教育部会「自分を知ろうカード」より～



今回は
大分県の事例です!





自己の成長や変容を自覚する

(例)中学校学級活動 題材「この一年間の自分の成長を振り返ろう」

	生徒の活動	教師の問い	生徒の発言や様子
導入	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 中学入学後の8か月を振り返る 👤(個) 本時のねらいを確認する 	<p>「この8か月何があっただろう」 「自分を知ろうカードとは…」</p>	<p>班ごとに8か月を振り返る 同様のカードを一年前に記録したことは覚えていない(自信がない)</p>
<p>※中学校版「自分を知ろうカード」の内容は小学校版とほぼ同じ。最後の欄は「後輩へのメッセージ」になる。</p>			
展開	<ul style="list-style-type: none"> 👤(個) 「自分を知ろうカード」に記録する 👤(個) 一年前の記録と比較する 	<p>「自分を知ろうカードを書いてみよう」</p> <p>「これまで同じようなカードを書いた経験はないだろうか」 「先生は大事に読ませてもらっていましたよ」 「では、一年前の記録と比べてみましょう」</p>	<p>記録が円滑に進むよう教師の個別支援が有効になる</p> <p>「あります。6年生の時に」 「え～、他の小学校でも書いたのですか」 「あ～、中学校の先生が持っていたのですね」</p>
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p>小学校の先生から引き継ぎました。君たちの入学式前に全員分をじっくり読ませてもらいましたよ。</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>「何で、先生が持ってるの？」</p> <p>「先生、読んでくれてたんだ！」</p> </div> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 互いの成長を話し合う 	<p>「お互い、成長したところを確認し合みましょう」</p>	<p>「一年前はこんなことを心配していたのか」 「字がきれいになっている」 「みんな、成長しているね」</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★中学校(中学部)の先生へ 今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。</p> <p>6年 いろいろな授業を受けることが楽しみです。 友達関係が不安です...</p> <p style="text-align: center;">↓ 一年後 ↓</p> <p>★これから中学校に入学する君たちへ これから中学校(中学部)へ入学する後輩へ中学校生活を紹介します。</p> <p>中1 中学校はラストがあって大変だけど、体育祭、文化祭などいろいろな行事があり、とても楽しいです。部活は毎週毎日あるけれど、先輩も優しいです。クラスの人も仲良く毎日毎日とても幸せです！絶対に優勝します！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★中学校(中学部)の先生へ 今、学校生活に対して期待すること、わからないことや不安なことなどを書きましょう。</p> <p>6年 上の学年がこわそう。</p> <p style="text-align: center;">↓ 一年後 ↓</p> <p>★これから中学校に入学する君たちへ これから中学校(中学部)へ入学する後輩へ中学校生活を紹介します。</p> <p>中1 中は、日本一熱い学校を目指していて、とても絆強い学校なので、みなさんが来るのとても楽しみにしています。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 👤(個) 自己変容を確認し、見通しを立てる 	<p>「この一年間で成長したことを書き出してみよう」</p> <p>「では、この活動からこれからのがんばりポイントも書き出してみよう」</p>	<p>自己変容に気付けない生徒への個別支援が不可欠になる がんばりポイントを意思決定したと自覚できるような配慮が求められる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆自分が成長したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1日を楽しく過ごすこと。 ・いろいろな人の相談を聞くこと。 ・体育祭＆文化祭などでみんなを本気にさせること。 ・みんなと仲良くできること。 </div>
終末	<ul style="list-style-type: none"> 👥(班) 自己変容とこれからのがんばりポイントを共有する 👤(個) 実践への決意をもつ 	<p>「自己変容とこれからのがんばりポイントを共有しよう」</p>	<p>(次ページに解説)</p>

中学校入学前の自らの記録を目の当たりにし自己変容を実感したこと、他者から成長を認められたことによる自己理解の深まりを見取ることができました。また、中学生の段階ともなれば様々な振り返りによって、根拠をもった見通しができるようになるかもしれません。また、「自分を知ろうカード」は書かせるだけでなく、それを活用して教師が対話的に関わるのが大事であると実感しました。(学級担任談)

「自分を知らうカード」を活用して 校種を越えた「自己理解」につなぐ

多くの学校では、学級・ホームルーム活動で児童生徒が一年間の生活や学校行事の目標を立てたり、それらを振り返ったりする活動を大事にしているはず。また、そういった活動で児童生徒によって記録されたワークシートや作文も丁寧に掲示されたり、蓄積されたりしているのではないのでしょうか。

しかし、その蓄積と振り返りが学年や校種を越えて行われている例は必ずしも多くないようです。児童生徒の学びは連なっているのに、学年や校種の垣根で隔てられているのかもしれない。

2～3ページの事例は一枚の「自分を知らうカード」を使って、校種を越えた「自己理解」につないでいるのです。



これって、キャリア教育なの？

3ページの事例では、小学校6年で書いた「自分を知らうカード」と一年後の中学校1年で書いた「自分を知らうカード」を比較して見ることににより、この一年間で成長したことを生徒は右の記述のように実感しています。

この生徒は、例えば「いろいろな人の相談を聞ける」「みんなを本気にさせる」という役割を果たせるようになった自分に気が付きました。

「キャリア」とは、人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねと定義(2011, 2012文部科学省「キャリア教育の手引き」)されています。

正にこの授業で、生徒は自分の役割の変化やその過程を自覚したと言えるのではないのでしょうか。

☆自分が成長したこと

- 1日/日を楽しめるようになったこと。
- いろいろな人の相談を聞けること。
- 体育祭&文化祭などでみんなを本気にさせること。
- みんなと仲良くできること。

3ページの授業事例は、大分県津久見市立第一中学校のもので。

津久見一中で全校共通のキャッチフレーズになっているのが「日本一熱く、絆強き学校」です。それが、教師との対話的な関わりによって、生徒の中に根付いていることが記録(3ページ授業事例 展開にある右側 中1の記述)を見ると分かります。

3ページの授業の中では、小学校6年時に書いた「自分を知らうカード」を中学校の担任が読み込んでいたことを知った生徒たちは安心感に包まれました。共感的な雰囲気の中での話し合い活動、意思決定が行われていきました。

